

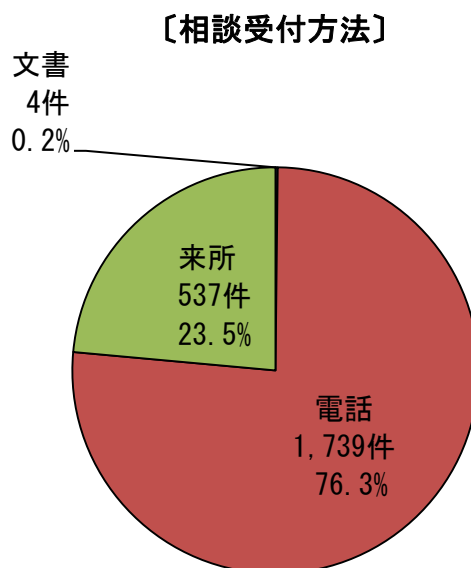
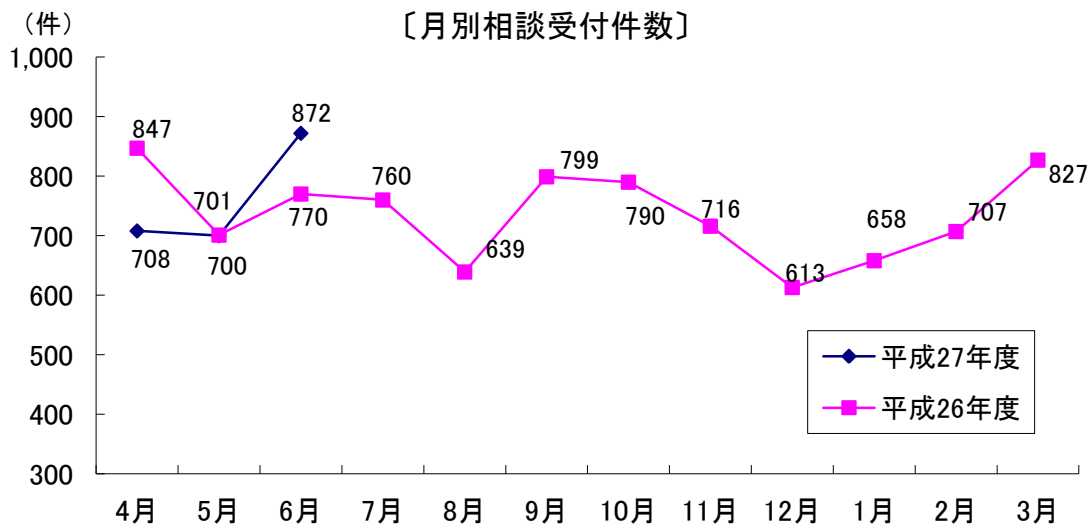
# 平成 27 年 4 - 6 月青森県内の消費生活相談状況

## 1 平成 27 年 4 - 6 月の状況

### (1) 相談受付状況

平成 27 年 4 - 6 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、2,280 件（苦情 1,972 件、問合せ 308 件）であり、前年度と比較して、38 件（1.6%）減少しています。  
（単位：件）

項目 \ 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
苦 情	1,972	1,933	39 (2.0%)
問 合 せ	308	385	▲77 (▲20.0%)
計	2,280	2,318	▲38 (▲1.6%)

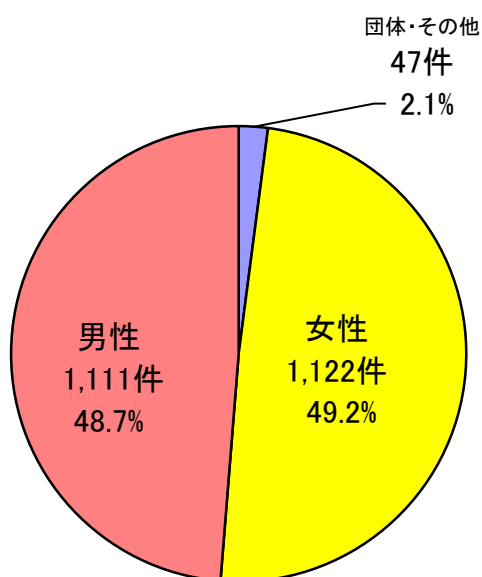


## (2) 契約当事者の状況

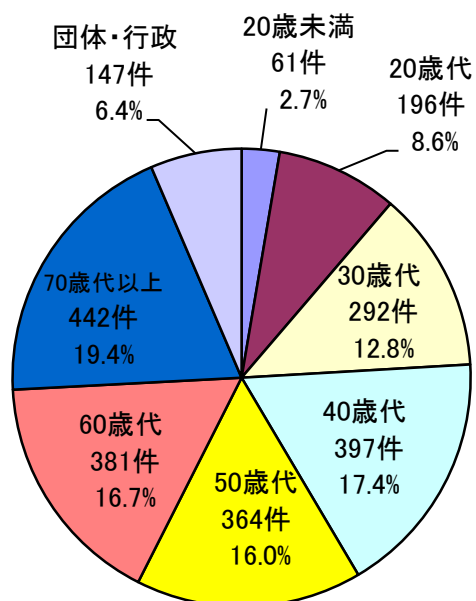
契約当事者を性別で見ると、女性が1,122件で、全体の49.2%を占めています。年代別では、70歳代以上が442件(19.4%)と最も多く、次いで40歳代が397件(17.4%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が887件(38.9%)と最も多く、次いで無職が709件(31.1%)となっています。

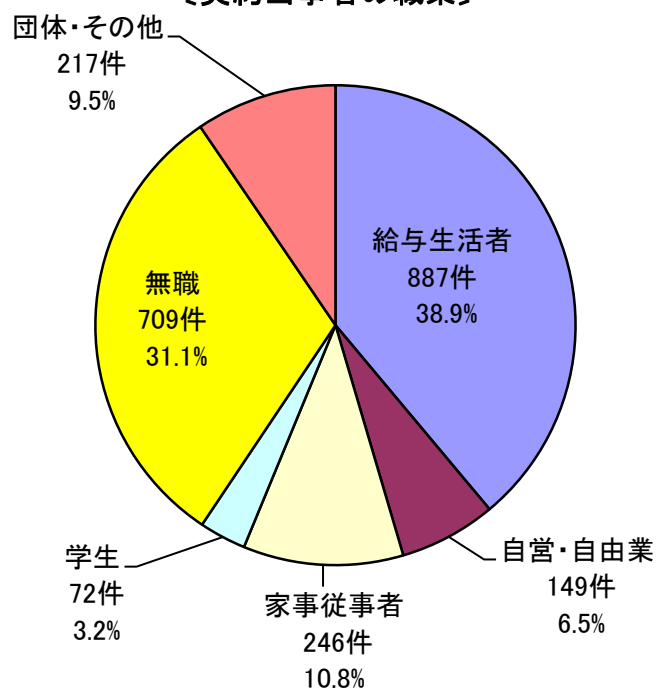
### 〔契約当事者の性別〕



### 〔契約当事者の年代〕



### 〔契約当事者の職業〕



### (3) 主な商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	商品・役務名	平成 27 年度	平成 26 年度	増 減
1	運輸・通信サービス	762	503	259 ( 51.5%)
2	金融・保険サービス	273	338	▲65 (▲19.2%)
3	商品一般	118	205	▲87 (▲42.4%)
4	食料品	115	92	23 ( 25.0%)
5	教養娯楽品	114	113	1 ( 0.9%)
	その他	898	1,067	▲169 (▲15.8%)
	計	2,280	2,318	▲38 (▲1.6%)

1. 「運輸・通信サービス」 平成 27 年 4－6 月の相談件数は 762 件で、前年同期より 259 件増加しています。相談別にみると、アダルト情報サイト、出会い系サイトなどの放送・コンテンツに関する相談の 485 件（相談件数の 63.6%）が最も多く、次いで光ファイバー、インターネット接続回線などのインターネット通信サービスに関する相談 192 件（同 25.2%）となっています。

2. 「金融・保険サービス」 平成 27 年 4－6 月の相談件数は 273 件で、前年同期より 65 件減少しています。相談別にみると、融資サービスに関する相談の 171 件（相談件数の 62.6%）が最も多く、次いで生命保険に関する相談 27 件（同 9.9%）となっています。

3. 「商品一般」 平成 27 年 4－6 月の相談件数は 118 件で、前年同期より 87 件減少しています。「商品一般」には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されますが、不審な電話やメールなどの信用性を尋ねる相談が 37 件（相談件数の 31.4%）となっています。

4. 「食料品」 平成 27 年 4－6 月の相談件数は 115 件で、前年同期より 23 件増加しています。相談別にみると、健康食品に関する相談の 42 件（相談件数の 36.5%）が最も多く、次いでカニなどの魚介類の強引な電話勧誘に関する相談の 24 件（同 20.9%）となっています。

5. 「教養娯楽品」 平成 27 年 4－6 月の相談件数は 114 件で、前年同期より 1 件増加しています。相談別にみると、新聞などの書籍・印刷物に関する相談の 27 件（相談件数の 23.7%）が最も多く、次いで犬などのペット動物に関する相談を含む他の教養娯楽品に関する相談の 20 件（同 17.5%）となっています。



## 2 平成 27 年 4 - 6 月の特徴

### (1) 特殊詐欺に関する相談受付状況

#### ア 相談受付件数

平成 27 年 4 - 6 月の相談件数は 505 件で、前年同期より 41 件減少しています。類型別にみると、ワンクリック詐欺の 227 件（相談件数の 45.0%）が最も多く、次いで振り込み詐欺の 184 件（同 36.4%）となっています。（単位：件）

年 度 類 型	平成 27 年 4 - 6 月	平成 26 年 4 - 6 月	増 減
ワンクリック詐欺	227	208	19 (9.1%)
振り込み詐欺	184	184	- (-)
金融商品取引名目詐欺	67	135	▲68 (▲50.4%)
異性との交際あっせん名目詐欺	25	13	12 (92.3%)
その他の名目詐欺（宝くじ）	2	4	▲2 (▲50.0%)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	0	2	▲2 (-)
合 計	505	546	▲41 (▲7.5%)

#### イ 既払金額

平成 27 年 4 - 6 月における特殊詐欺の既払額等の状況をみると、既払金の合計額は前年同期より減少しているものの、お金を支払った人の数が増加しています。一人あたりの平均既払金額も減少していることから、少額の被害が増加していることがわかります。

（単位：千円）

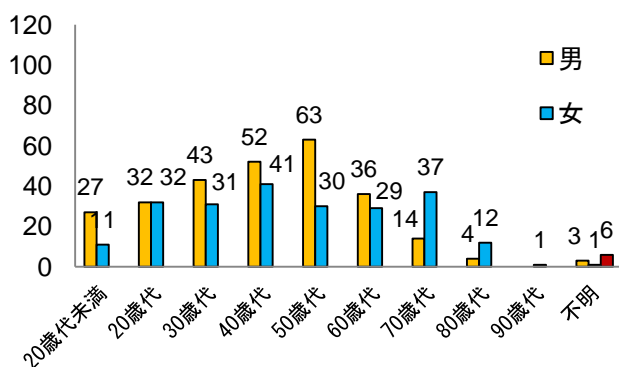
	平成 27 年 4 - 6 月	平成 26 年 4 - 6 月	増 減
お金を支払った人の数	34 人	22 人	12 人 (54.5%)
既払金額合計	24,381	30,751	▲6,370 (▲20.7%)
平均既払金額（一人当たり）	717	1,398	▲681 (▲48.7%)
最大既払額	6,000	15,000	▲9,000 (▲60.0%)

#### ウ 契約当事者の年代および性別

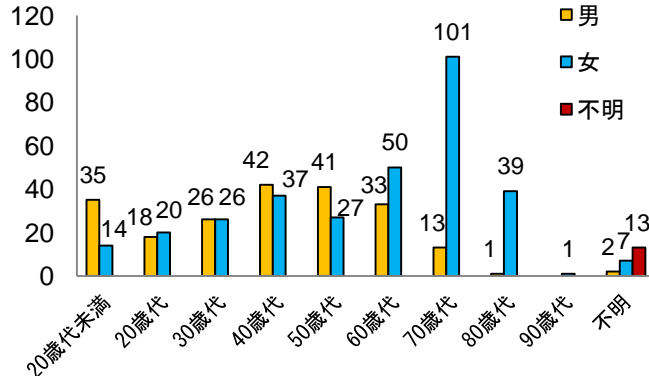
##### (ア) 特殊詐欺全体

平成 27 年 4 - 6 月における特殊詐欺の契約当事者を年代・性別でみると、50 歳代男性の 63 件が最も多く、次いで 40 歳代男性の 52 件、30 歳代男性の 43 件となっています。

（件）



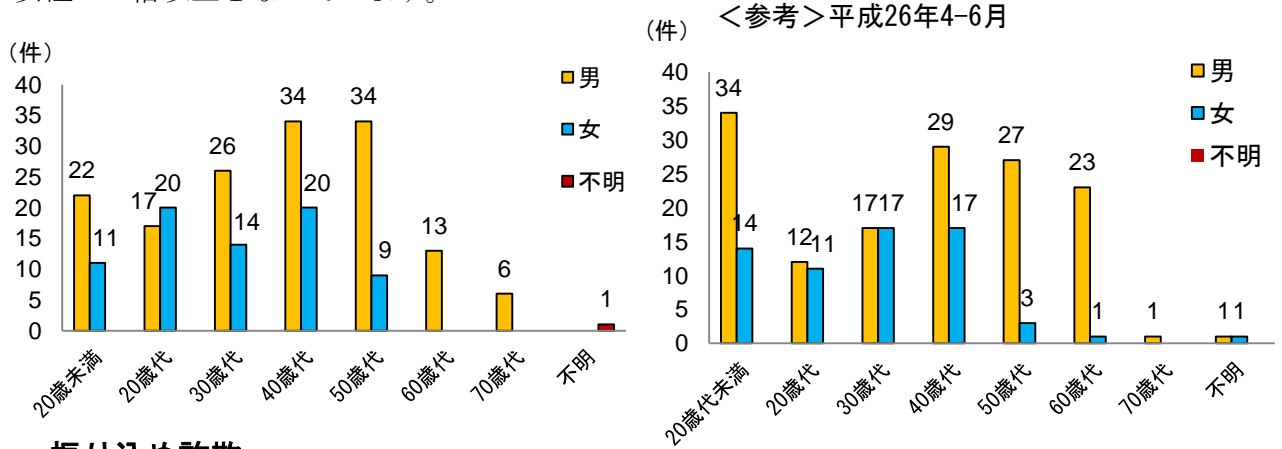
（件）＜参考＞平成 26 年 4 - 6 月



## (イ) 詐欺の類型別上位 契約当事者の年代および性別

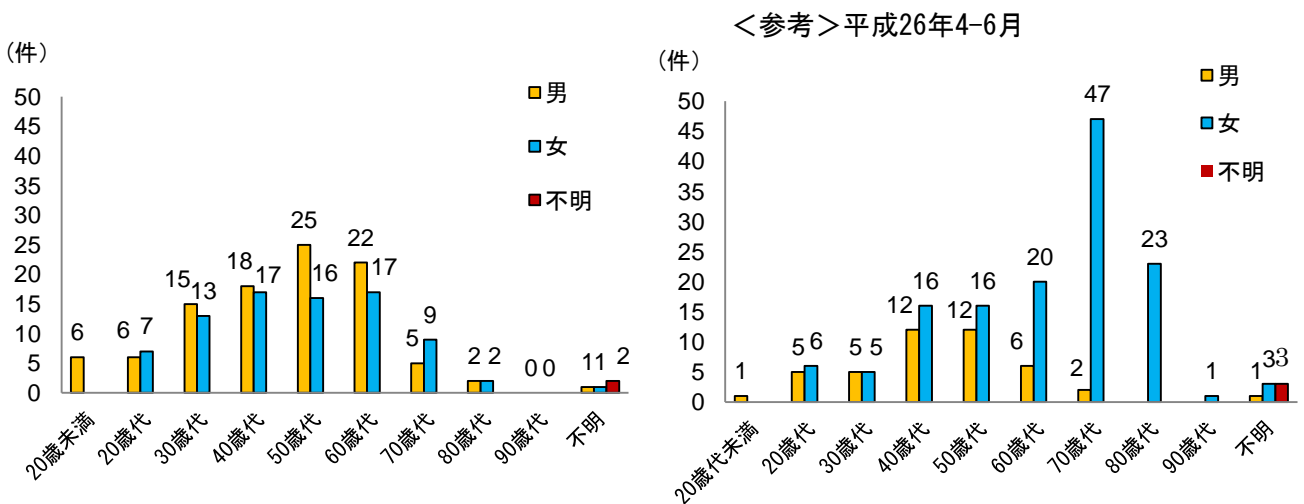
### a ワンクリック詐欺

ワンクリック詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、40歳代と50歳代の男性がそれぞれ34件で最も多く、次いで30歳代男性の26件となっています。男性152件に対し女性74件と男性が女性の2倍以上となっています。



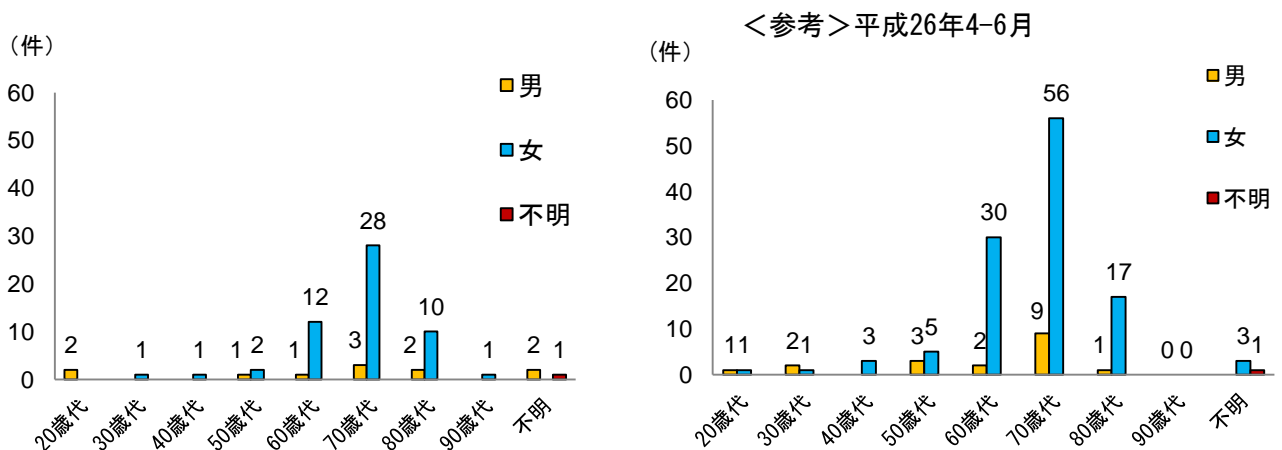
### b 振り込め詐欺

振り込め詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、50歳代の男性の25件が最も多く、次いで60歳代男性の22件となっています。



### c 金融商品取引名目詐欺

金融商品取引名目詐欺の契約当事者を年代・性別で見ると、70歳代の女性の28件が最も多く、次いで60歳代女性の12件となっています。



## エ 振り込め詐欺に関する相談

平成27年4～6月における振り込め詐欺の相談件数は184件で、前年同期と同数です。

最も多い架空請求を手口別にみると、「メールによるもの」の156件（相談件数の91.2%）が最も多く、次いで「ハガキなどによるもの」の15件（同8.8%）となっています。

また、これまで数年間相談が寄せられていなかったオレオレ詐欺の相談が1件となりました。

（単位：件）

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
平成27年 4～6月	1	171	0	12	184
平成26年 4～6月	0	164	2	18	184
増減	1 (－)	7 (4.3%)	▲2 (－)	▲6 (▲33.3%)	0 (－)

## (2) インターネット通信サービスに関する相談の増加

### ア 相談受付状況

平成27年4～6月におけるインターネット通信サービスに関する相談件数は192件で、前年同期より138件（255.6%）増加しています。

相談件数の増加の背景には、大手電話会社が提供する光回線をインターネット接続事業者（ISP）に卸売りすることが認められたこともあり、大手電話会社であるかのように装って契約をさせたり、執拗な電話勧誘に困っているという相談が寄せられています。

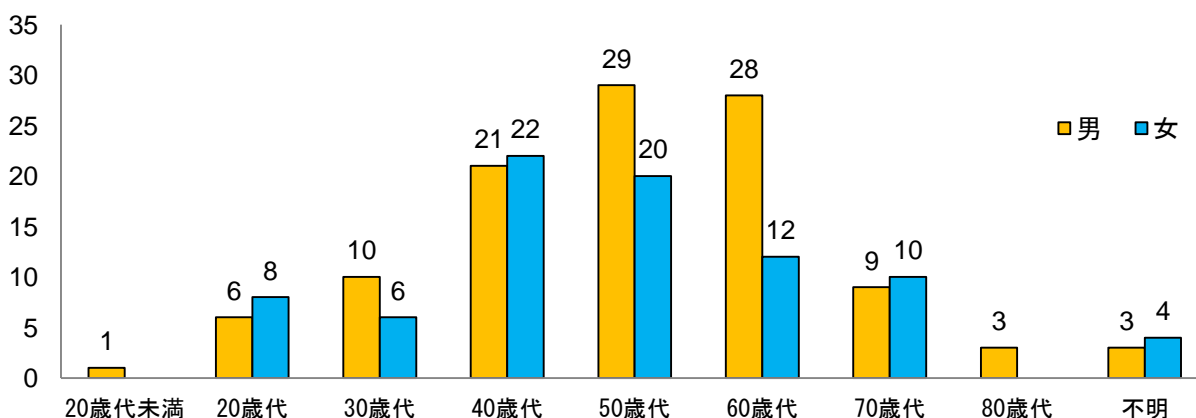
（単位：件）

	平成27年 4～6月	平成26年 4～6	増減
相談受付件数	192	54	138 (255.6%)

### イ 契約当事者の年代および性別

平成27年4～6月におけるインターネット通信サービスの契約当事者を年代・性別でみると、50歳代男性の29件が最も多く、次いで60歳代男性28件となっています。男女別では男性110件、女性82件で、男性の割合がやや高くなっています。

〔契約当事者の年代および性別〕

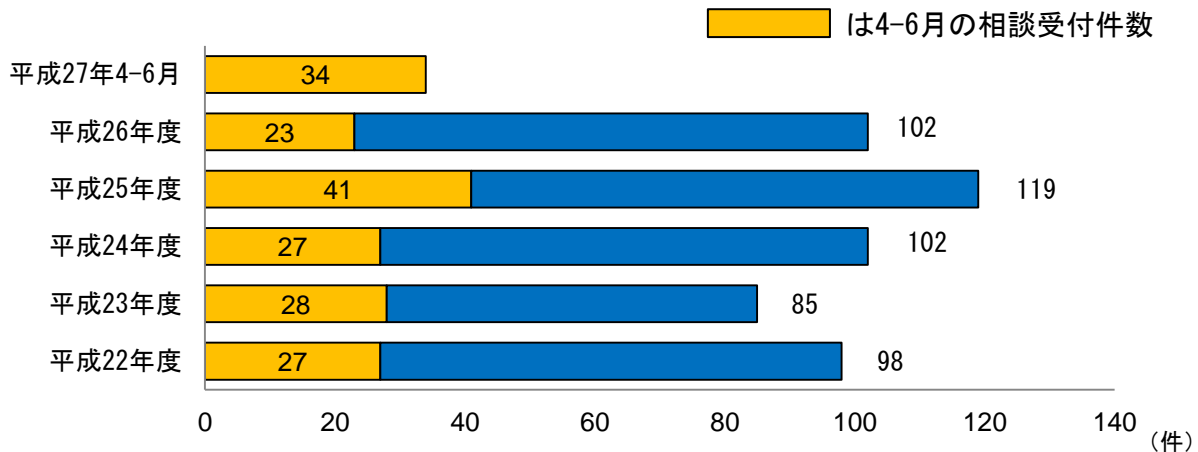


### (3) 判断不十分者の契約に関する相談受付状況

#### ア 相談受付状況

平成27年4-6月において、認知症などで判断能力が衰えた人の契約に関する相談が34件ありました。前年同期より11件(47.8%)の増加となっています。

〔判断不十分者契約の相談件数の推移〕



#### イ 商品別相談受付状況

平成27年4-6月において、判断不十分者の契約を商品・役務別にみると、魚介類が最も多く11件(相談件数の32.4%)、次いで健康食品の3件(同8.8%)となりました。契約者の判断能力不足に乗じて次々とカニや鮮魚などの魚介類を次々と送付する手口が見受けられました。

(単位：件)

	商品・役務名	平成27年度 4-6月	平成26年度 4-6月	増減
1	魚介類	11	1	10 (1,000.0%)
2	健康食品	3	6	▲3 (▲50.0%)
3	医薬品	2	0	2 (-)
	工事・建築・加工	2	2	- (-)
	紳士・婦人洋服	2	0	2 (-)
	役務その他	2	1	1 (100.0%)
	その他	12	13	▲1 (▲7.7%)
	計	34	23	11 (47.8%)

### (4) 多重債務に関する相談の受付状況

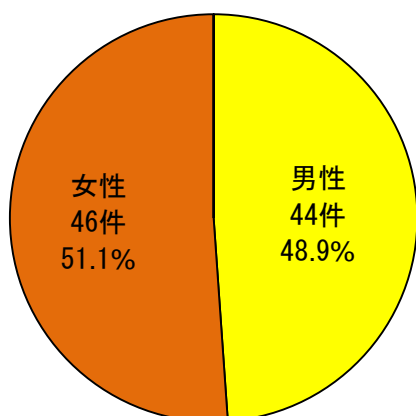
#### ア 相談受付状況

平成27年4-6月における多重債務に関する相談件数は90件で、前年同期112件より22件(19.6%)減少しています。

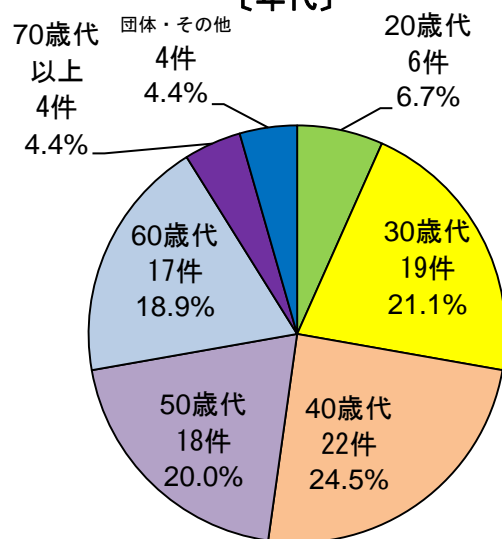
(単位：件)

	平成27年 4-6月	平成26年 4-6月	増減
相談受付件数	90	112	▲22 (▲19.6%)

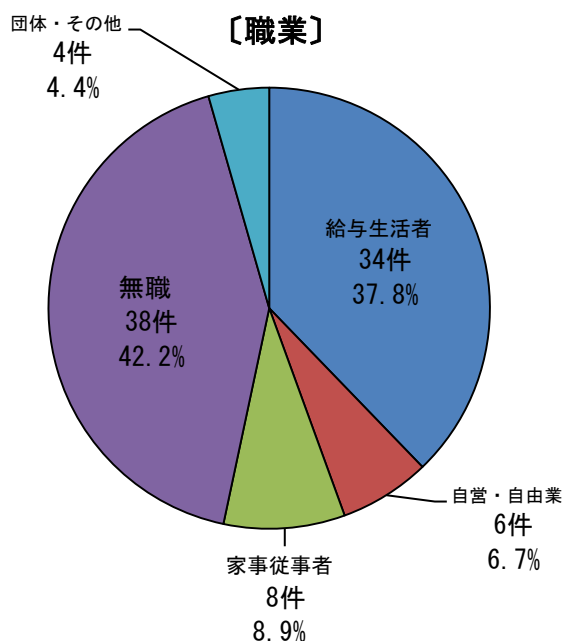
〔性別〕



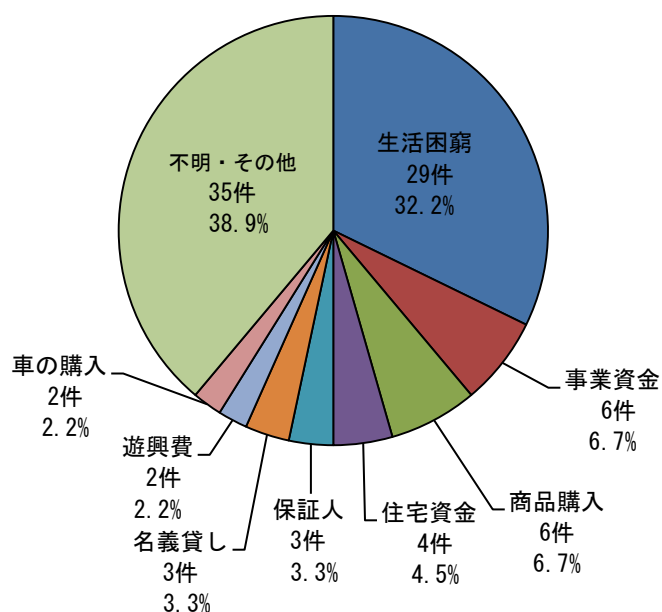
〔年代〕



〔職業〕



〔借金のきっかけ〕



## イ ヤミ金などの相談

平成27年4～6月におけるヤミ金などに関する相談件数は19件で、前年同期より8件(29.6%)減少しています。

(単位：件)

	平成27年 4～6月	平成26年 4～6月	増減
ヤミ金	19	27	▲8 (▲29.6%)
融資保証金詐欺	0	2	▲2 (－)
借金整理屋	2	0	2 (－)
ショッピング枠現金化	1	1	－ (－)